

このたび、広島大学は両生類を用いた進化発生遺伝学の研究分野において、広島大学における「優れた大学教員の確保・育成のための方針～若手教員が安心して活躍する大学に～」に基づき雇用する教員1名（テニュアトラック助教）を国際公募します。

採用者がテニュアトラック期間満了までにテニュア審査に合格することを条件として、准教授としてテニュア（終身在職権）を取得できる新たなポストとなっています。新たな分野を切り開く研究計画提案のもとに、腰を据えて教育研究に専念していただくことを前提としています。

したがって、採用時の審査においては、それまでの教育研究業績の審査に加え、テニュアトラック期間に留まらず10年程度の中長期的な研究計画の内容について審査します。テニュア審査においては、その過程の到達度と将来の展望を加味して総合的に審査します。

広島大学は、採用されたテニュアトラック助教に対して、スタートアップ支援経費を措置します。また、メンター教員の配置等により教員が自立して研究活動を行うことのできる環境を整備しています。なお、テニュアが付与されなかった場合に、テニュアトラック期間の満了する日の翌日から1年を限度として、特任教員として雇用できる環境も整えています。

広島大学の理念、長期ビジョン、中期目標 (<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about>) にご賛同いただき、広島大学の教育研究を背負ってご活躍いただける意欲のある方をお待ちしております。

広島大学長 越智光夫

広島大学の人事制度改革については、以下の URL 先をご覧ください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo>



2026年4月27日

関係各位

広島大学両生類研究センター長
荻野 肇 (公印省略)

教員の公募について（公募期間延長）（依頼）

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

広島大学両生類研究センターは、世界初の総合的両生類リソースセンターとしての機能を中核として、基礎生命科学における先鋭的研究を遂行し、加えてそれを基盤とした医学応用・環境保全研究等を展開することを主なミッションとしています。この度、下記の要領で教員を公募（公募期間延長）することとなりました。

つきましては、関係者各位へ周知いただくとともに、適任者の推薦及び応募についてよろしくお取り計らい願います。

敬具

記

1. 所属（配属）

広島大学大学院（両生類研究センター）

※採用となった方には、理学部生物科学科及び大学院統合生命科学研究科の生命医科学プログラムの教育・研究にも携わっていただきます。

2. 勤務地

東広島キャンパス 東広島市鏡山 1-3-1 その他大学が定める就業場所等

3. 職名・人員

テニュアトラック助教 1名

（テニュア付与後の職位については下記5（1）を参照）

4. 採用予定年月日

2026年10月1日（10月1日以降のできるだけ早い時期）

5. 任期又は有期雇用契約期間

5年（テニュアトラック期間）

- （1）広島大学のテニュアトラック制に関する規則に基づき、テニュアトラック期間が満了する6月前までに准教授でのテニュアを付与するかどうかのテニュア審査を行い、これに合格すればテニュアを付与します。テニュア審査は、中間審査及び最終審査により行います。
- （2）最終審査の結果、テニュアを付与しなかったときは、テニュアトラック期間の満了をもって退職となります。

- (3) テニユアトラック期間に出産・育児・介護のライフイベントがあった場合には、休業期間に応じテニユアトラック期間を一定期間延長することができます。

6. 従事する予定業務

(雇入れ直後)

- (1) 「7. 専門分野」の研究に関すること。
- (2) 「8. 担当予定科目」における授業及び大学院生・学部生への指導に関すること。
- (3) 全学及び研究科，学部，センター等における管理運営に関すること(各種会議への参加，各種委員会委員としての活動等)。
- (4) 入学者選抜に関すること(試験監督，問題作成，採点，面接員等)。
- (5) その他，教育研究等組織の長が指示する業務。

(変更の範囲)

大学が定める業務

7. 専門分野

両生類を用いた進化発生学・進化遺伝学・ゲノム科学

8. 担当予定科目

以下の科目を担当することを予定します。

- (1) 教養教育科目：教養ゼミ，両生類から見た生命システム 等
 - (2) 学部（専門教育科目）：動物形態制御学，生物科学基礎実験 I, II，両生類生物学演習 等
 - (3) 大学院（博士課程前期）：生命医科学特別演習 A, B, 生命医科学セミナーA, B 等
 - (4) 大学院（博士課程後期）：生命医科学セミナーC 等
- ※ 担当いただく科目は変更又は追加する可能性があります。

9. 応募資格

次の要件をすべて満たす者

- (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有すること。
- (2) 日本語及び英語で，学部と大学院の授業・討論・研究指導ができること。
- (3) 基礎生命科学とその応用を目指す研究や教育，及び両生類バイオリソース事業を遂行するのに必要な熱意と高い能力を有すること。

※ 本学着任後は主にツメガエルを用いて教育研究をおこなっていただきますが，これまでの知見・実績としては，小型魚類等を用いた発生生物学，進化遺伝学，ゲノム科学研究等の経験を有することが望ましい。そのような両生類以外の遺伝学実験系に関する先鋭的知見を応用して，ナショナルバイオリソース事業（NBRP ツメガエル・イモリ），両生類を用いた進化発生遺伝学・比較ゲノム研究，特に転写制御ネットワークの進化研究を，荻野 肇教授と協力して拡大発展させられる人材を求めます。本センターが取り組むオオサンショウウオ保全研究にも協力していただきます。

10. 応募書類

- (1) 履歴書(様式1)(写真添付，メールアドレス，所属学会及び学会活動も記載してください。学士，修士，博士の全てについて正確な名称を記載し，学歴・職歴については年月日まで正確に記載してください。) 過去5年間に広島大学で雇用(TA, RA, 研究員等を含む)され

たことがある場合は、漏らさず記載してください。

- (2) 研究業績一覧（様式2）（学位論文、著書、学術論文、総説、報告書、その他に区分した上で、新しいものから順番に記載してください。学術論文及び総説については、査読の有無を記載し、主要な研究業績3～5点に○をつけてください。主要な研究業績3～5点とその他の過去5年の研究業績については、できる限り掲載年のインパクトファクターを記載してください。掲載年以外のインパクトファクターを記載する場合は、その年も記載してください。）
- (3) 主要な研究業績3～5点（別刷又はコピー）
- (4) 科学研究費補助金等の外部資金の獲得歴（様式3）（直接経費額、代表あるいは分担の別を明記）、学会等での受賞歴等
- (5) 教育業績（様式2）（担当した授業科目名、担当年度及び授業を開講した学校名、卒業論文・修士論文・博士論文の指導学生の人数、執筆した教科書、等。教授や准教授の授業や学生指導を補佐した場合は、その実情に沿って説明してください。）
- (6) 社会貢献に関わる主要な業績（様式2）
- (7) 研究・教育業績の概要（様式4）（合わせて2,000字程度）
- (8) 着任後の研究・教育・バイオリソース事業に対する抱負（様式5）（2,000字程度）
- (9) 両生類あるいは小型魚類等の飼育実績、及び有する実験解析技術の概要（様式6）（2,000字以内）
- (10) 照会可能な2名の氏名と所属、連絡先（様式7）（電話番号またはEメールアドレス）
- (11) ResearcherIDまたはORCID情報（様式1）

※Clarivate Analytics社またはORCID web ページより取得が可能。

※(1)～(11)はPDFファイルとして保存し、E-mailに添付してお送りください。

11. 応募期限

2026年5月15日（金）17:00（日本標準時）（必着）

12. 応募書類送付先

応募書類を全てPDFファイルにし、E-mailに添付して下記アドレス宛に送付してください。E-mailの件名及び添付ファイル名は、“Amphibian_Assistant_Prof”の文言の後ろに応募者の姓名を括弧書きで加えたものにしてください。（例えば、山田太郎さんの場合は“Amphibian_Assistant_Prof(Yamada_T)”となります。）

添付ファイルの容量が10MBを超える場合はメールを分割して送付してください。その際、E-mailの件名の最後に、1/2、2/2など応募書類の分割数が分かるようにしてください。また、圧縮ソフトは使用しないでください。なお、折り返し受理通知のE-mailを返信するので、必ず確認してください。

送付先:広島大学学術室学術部学術支援グループ（総務担当）

E-mailアドレス: gakujutu-ssoumu@office.hiroshima-u.ac.jp

13. 選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 必要に応じて面接を行うことがあります。面接を行う場合は、原則として、英語による模擬授業を行います。ただし、交通費等は支給できませんので、あらかじめ御了承ください。なお、書類審査通過者に面接を行う場合は、その形式について、別途連絡します。
- (3) 広島大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会基本法」

の趣旨に則り、業績（研究業績、教育業績、社会貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。

14. 勤務形態

- (1) 勤務時間 8:30～17:00（月～金）、休憩時間 12:00～12:45（専門業務型裁量労働制の適用に同意した場合は、1日7時間45分働いたものとみなされます。）
- (2) 勤務日は、原則として月曜日から金曜日（祝日を除く。）です。
- (3) 休日は、原則として土曜、日曜、祝日となります。

15. 給与等

- (1) 採用となった方には、年俸制（II）（2021年10月施行）が適用されます。
- (2) 採用となった方には、本学の規則に基づき、採用に伴う旅費を支給できる場合がありますのでお問い合わせください。

※本学は、競争的研究費や共同研究費などの直接経費から研究者の人件費を支出することにより、確保された財源を研究者自身の処遇改善（給与の上乗せ）や研究環境改善に活用できる仕組みを導入し、研究者が安心して研究に集中できる環境を整備しています。

16. 評価

本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映します。

17. 募集者名

国立大学法人広島大学

18. その他

- (1) 試用期間：あり（6月間）
- (2) 本学は、世界ランキングトップ100に向けた本学の中長期的な成長を目指し、優れた研究人材の確保・育成を図るとともに、教員の年齢別構成の改善を図るため特に若手教員、女性教員及び外国人教員等の活躍の場を全学的に拡大し、教育研究を活性化していく予定です。このことを踏まえ、今回の公募は若手研究者の応募を希望します。
- (3) 応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事・給与・福祉関係に必要な手続に利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。なお、採用に至らなかった方の応募書類ファイルは、当該採用選考業務終了後、適切な方法にて処分いたします。
- (4) 定年年齢は65歳です。
- (5) 広島大学では全ての大学教員は「学術院」に所属し、学部、研究科、研究院、病院などの教育研究組織に配属されます。
- (6) 配属された教育研究組織の教育・研究に従事することになりますが、他の教育研究組織の教育・研究、全学事業を担当することもあります。
- (7) 広島大学では教員の分野ごとに採用最低基準を定めています。人事選考過程の第一次選考において本基準を適用し、最低基準を満たした方を選考対象といたします。本公募で適用する採用最低基準は以下のURLに掲載しています。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo/>

(8) 広島大学では本人事以外にも本学の求人情報（研究職，事務職等）を提供しています。配偶者が就業を希望される場合等にご参照ください。

求人情報：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment>

(9) 広島大学は，2020年1月からキャンパス内全面禁煙となっています。

19. 問い合わせ先

広島大学両生類研究センター

TEL:082-424-7328 FAX:082-424-0739

E-mail: frogjimu@hiroshima-u.ac.jp